

## 令和 7 年度 第 2 回 浜田市学校給食審議会

日時：令和 7 年 12 月 16 日（火）

19 時～20 時（終了予定）

場所：浜田市役所本庁舎 4 階 講堂

1 会長あいさつ

2 資料説明(事務局)

3 協議事項

(1) 給食費の改定案について

・具体的な引上額・引上率

・改定時期

・附帯意見

(2) 答申書の取りとりまとめ方法について

4 その他

## 浜田市学校給食審議会委員名簿

（令和7年8月29日現在）

No.	委員区分	氏 名	所属等	団体等
1	教職員代表	川田 英樹	第一中学校 校長	浜田市校長会
2	〃	岡本 真美	松原小学校 校長	浜田市校長会
3	〃	花本 千歌子	三隅中学校 養護教諭	浜田市教育研究会（給食部会）
4	〃	山本 扶美子	雲城小学校 養護教諭	浜田市教育研究会（給食部会）
5	保護者代表	湯浅 弘一	浜田市PTA連合会 顧問	P T A連合会
6	〃	佐々田 大輔	浜田市PTA連合会 副会長	P T A連合会
7	〃	江木 聡志	浜田市PTA連合会 副会長	P T A連合会
8	識見者	富金原 央嗣	衛生指導課長	浜田保健所
9	〃	岩田 敏樹	教育行政経験者	金城地域
10	〃	山藤 真樹	旭小学校 校長	旭地域
11	〃	三浦 寿紀	地域協議会委員	弥栄地域
12	〃	荒木 聖子	地域協議会委員	三隅地域
13	〃	花坂 善徳	公益財団法人 浜田市学校給食会 理事長	浜田市学校給食会

### ※事務局名簿

No.	役職	氏 名	職名	備考
1	事務局	草刈 健司	教育部長	
2	〃	藤井 陽子	教育総務課長	
3	〃	永田 圭	教育総務課 施設給食係長	
4	〃	栗栖 光志	教育総務課 施設給食係主事	

令和 7 年度 第 2 回 浜田市学校給食審議会

資 料

## 目 次

	頁
1 給食審議会委員の意見について……………	1
2 令和4年度学校給食費の改定について(答申)……………	4

# 給食審議会委員のご意見について

## 1 給食費改定案

(1) 主食費推計平均	その他 16.5%引上げ	9 名
(2) 主食費推計平均	その他 18.5%引上げ	0 名
(3) 主食費単価計算	その他 18.5%引上げ	3 名
(4) その他		1 名
		合計 13 名

## 2 上記給食費改定案の理由

(1) 主食費推計平均 その他 16.5%引上げ・・・9 名

○令和 9 年度以降は、学校給食の無償化や米価の値上がり等、不透明な点が多いため、今後の上昇率は見込まず、令和 8 年のみの改定とするため。

○令和 8 年度、秋より主食費の単価を下げる事が可能とのことであるため。また、その他は令和 8 年度の給食費であるとのことなので今後の上昇率は考えていない。

○給食費を大幅に引き上げないことで保護者負担減になるため。

○食品衛生の観点から衛生管理に係る費用も高騰していることから給食費の引き上げもやむを得ないとする。貴市の試算により、16.5%の引き上げでカバーできるのであれば 16.5%が良い。ただし、2 案・3 案を否定するものではないため、他の委員の意見を伺いたい。

○1 年後に給食費の見直しがあるという条件があるため。

○現在、小学校の実質の給食費は 389 円で、今後さらなる物価上昇が予測されるところであるが、米の仕入れ先の変更による単価の減と給食費の見直しを 3 年ごとから毎年に変更されることから 1 案が妥当であると考えたため。

○食材価格の高騰、エネルギー価格の上昇、輸送コストの増加、人件費、衛生管理コストを踏まえ、給食費増額改定はやむを得ないが、保護者負担の急増を考慮し、1 案とした。

○ガソリン等の軽減税率廃止等であらゆる資材等にかかっていた運搬費が減ることが期待される。物価高騰が落ちつくことも考えられるため、様子見をしてもよいと考える。

(2) 主食費推計平均 その他 18.5%引上げ・・・0 名

(3) 主食費単価計算 その他 18.5%引上げ・・・3 名

○昨年度までの学校給食審議会の資料を閲覧してみますと、給食審議会は毎年定期的に開催されておりません。

令和 4 年 12 月 2 日に開催された審議会では、給食費の改定を答申されていますが、昨今の米価等諸物価高騰のおり、今後の学校給食事業の運営に支障をきたす可能性を考慮したため。

○子供たちが摂取する栄養バランスや食文化を考えながら限られた予算内で献立を考える中で予算が少ないがために採用できていないメニューや食材があると聞いている。そのため、2 案・3 案の金額に大差ないため、3 案が良いと考える。

○単純にかかった金額で計算するのが一番わかりやすく、納得できるのではないのでしょうか。予算は当然あるべきものですが、時価の変動はやむを得ないことと思います。

(4) その他・・・1 名

○国の無償化の動向は未定だが、値上げ分は無償化までの間、浜田市が補助金として支援し、保護者からの負担は求めない。

### 3 附帯意見

○学校給食の無償化、物価情勢の変化をみて、令和 9 年度以降の給食費の改定を検討されたい。

○保護者負担増の対応として今年度並の給食費の激変緩和措置について検討されたい。

○学校の統廃合を見据え、給食センター統合など合理化を図ることによって、給食が継続的に維持できるように検討されたい。

## 4 自由意見

○諮問書の理由の中に「栄養バランスや量を保った～」とありますが、給食の質についての記述がありません。
○学校給食の意義について委員さんと共有したいので協議の機会をいただきたい。
○浜田市こども計画「こどもまんなか社会」の実現。 浜田市に学校給食費免除児童・生徒が多く存在し、子育て世帯全体が困っていると思われる。 1日の1/3の学校給食がこどもの体を作っている。
○地産地消は大事だが、食材供給の安定を考えると冷凍食材を使うことも致し方ないを考える。おいしさと、量と、価格と栄養素のバランスを考えて、柔軟な考え方をしてもよいと思う。 給食の楽しみの一つにデザートがある。子供達はとても楽しみにしているので、月に1～2回程度は出せると嬉しい。
○次回の給食審議会は、現場のことがよくわかっている栄養教諭を審議会委員に選出した方がよい。
○給食費が高いと言われる意見が多いなら、お弁当に切り替えても良いと思います。厳しい現実を見る事になると思いますが・・・
○おいしく食べられること、栄養が満たされていること、安全安心な食材であることなど、基本方針が整っていれば、地産地消も取り入れ、急な献立変更も対応できる柔軟性が必要だと思います。サプライズもあり、子供たちがわくわくする様な給食には、多少の金額が上がっても当然と思っていただけるのではないのでしょうか。
○今後も地産地消を推進し、安全で安心な食材を確保しながら残食を減らせる工夫を凝らすなど子ども達への食育を考えた献立作りを進めていくためには学校給食費の増額改定はやむを得ない。



令和 4 年 12 月 2 日

浜田市教育委員会 様

浜田市学校給食審議会

会長 上 部 証



学校給食費の改定について（答申）

令和 4 年 8 月 29 日付け教総第 101 号にて諮問を受けたこのことについて、慎重に審議を行った結果、下記のとおり答申する。

記

1 給食費の改定について

(1) 改定について

学校給食摂取基準に基づいた給食を維持・継続することの必要性や食材料費の価格高騰を踏まえ、引上改定を行うことが適当である。

(2) 改定額について

前回給食費の改定を行った平成 30 年時点の消費者物価指数と比較して、令和 4 年の消費者物価指数上昇分 5.9% (注)と今後の上昇率を 3.1% 見込み、9.0%を上限にその範囲内で改定することが適当と考える。

※注：総務省統計局公表の消費者物価指数（松江市）による。

現行給食費に対して 9.0%に相当する額は次のとおり

小学校 25 円、中学校 28 円

(3) 改定時期について

令和 5 年 4 月 1 日が適当である。

2 附帯意見

(1) 給食費の改定による保護者負担急増への対応として、給食費の激変緩和措置等について検討されたい。

(2) 物価情勢を注視する中で、概ね 3 年ごとを目安として、適正な給食費について検討されたい。ただし、急激な物価情勢の変化が生じた場合は速やかに給食費の改定を検討されたい。

(3) 各地域間で異なる給食費について、統一に向けて検討されたい。

(4) 地元食材の利用推進について、引き続き努められたい。ただし、給食費とのバランスにも考慮されたい。